

V 埼玉県の特別支援教育における現状と課題を踏まえた動向の実際

第1章 支援籍学習と交流及び共同学習

事例1 知的障害特別支援学校小学部3年生（通常学級支援籍）

1 年間指導計画（4回の支援籍学習の実施）

支援籍学習のねらい

| ○地域の同年代の児童との交流を通して、自分のことや障害のことを知り、理解の推進を図る。 | |
|---|--|
| ○支援籍を通して、人と関わる力や社会性を高める。 | |
| 月 | 指導内容（活動内容）※（特）…特別支援学校（支）…支援籍実施校 |
| 4 | <ul style="list-style-type: none"> ・（特と支）事前の打ち合わせ①（顔合わせ・児童の様子説明） ・（特）保護者、本人と「ねらい」の確認・登校や参加の仕方の確認 ・（特と支）事前の打ち合わせ②（ねらいの確認・具体的な参加の仕方の検討） |
| 5 | <ul style="list-style-type: none"> ・（特）自己紹介カード（掲示物）の作成 ⇒自分の好きな物、得意なこと等、写真や作品に掲示し、教室に掲示しやすいサイズに配慮しつつ、支援籍校の児童が見やすい内容になるよう工夫する。（写真掲載の許可を事前に確認する） ・（保護者・本人）事前訪問（放課後等に保護者・本人が来校して自己紹介カードを渡す） |
| 6 | <ul style="list-style-type: none"> ・（特）支援籍校にFAXし、日程や時間、持ち物の確認をする。 ①支援籍学習：7：45に通学班で登校する。朝の活動（マラソン）に参加する。朝の会に参加し、自己紹介や挨拶をする。下校する。（9：00保護者と下校） ・（特）終了後、電話連絡し、次回の配慮事項等を確認する。 |
| 7 | <ul style="list-style-type: none"> ・（特）支援籍校にFAXし、日程や時間、持ち物の確認をする。 ②支援籍学習：7：45に通学班で登校する。朝の活動（誕生日会）に参加する。朝の会に参加し、下校する。（8：50保護者と下校） ・（特）終了後、電話連絡し、次回の配慮事項等を確認する。 |
| 9 | |
| 10 | <ul style="list-style-type: none"> ・（特）支援籍校にFAXし、日程や時間、持ち物の確認をする。 ③支援籍学習：10：10に保護者と登校する。教室に荷物を置いた後、なかよしタイム（業間休み）に参加する。3時間目の外国語活動と4時間目の図工に参加し、下校する。（12：30保護者と下校） ・（特）終了後、電話連絡し、次回の配慮事項等を確認する。 |
| 11 | |
| 12 | |
| 1 | <ul style="list-style-type: none"> ・（特）支援籍校にFAXし、日程や時間、持ち物の確認をする。 ④支援籍学習：10：10に保護者と登校する。教室に荷物を置いた後、なかよしタイム（業間休み）に参加する。3時間目の理科と4時間目の音楽に参加する。給食を食べて、下校する。（13：15保護者と下校） ・（特）終了後、電話連絡し、次回の配慮事項等を確認する。 ・（特と支）お礼のカードを作成する。 |
| 2 | <ul style="list-style-type: none"> ・（特と支）反省会を兼ねた打ち合わせを行う。 ・（支）保護者と児童がお礼カードを持って来校し受け取り、支援籍校の児童が作成したお礼カードを渡す。 |
| 3 | |

2 指導案

〇〇〇〇さん 支援籍学習・3回目 〇〇市立〇〇小学校（3年〇組）

- 1 日 時 支援籍学習実施日 令和〇年〇月〇日（〇）登校：〇時〇分～下校：〇時〇分
- 2 場 所 （集合場所）教室 （活動場所）校庭・教室
- 3 ねらい (1)自分から友だちに声をかけたり、関わったりして交流を持つ。
(2)先生の説明や指示を聞いたり、周囲の子の様子を見たりして「何をするのか」を判断する。
- 4 児童の様子

※個別の教育支援計画（プランA）・個別の指導計画（プランB）を参照

5 本時の展開

| 時間 | 学習内容（具体的な内容） | 指導上の留意点（指導の手だて） | 備考 |
|-------|---|--|----|
| 10:10 | 保護者と登校 ・昇降口から入り、教室へ移動する。 ・荷物をロッカーに入れる。 | ○緊張して登校するので、入りやすいように配慮する。（声かけをしすぎない等） ○下駄箱やロッカーの位置を忘れている場合は、迷わないように声かけをする。 ○なかよしタイムが始まっているのですぐに校庭に移動できるようにする。 | |
| 10:15 | なかよしタイム ・児童と一緒に「どろけい」をしたり、鉄棒で遊んだりする。 | ○予め決めておいた「どろけい」を行う。 ○付き添いの教師は、見守りながら児童同士の間わりが多くなるように配慮する。 ○多くの児童が校庭におり、安全に配慮する。 | |
| 10:35 | 3時間目：外国語（英語） ・英語での挨拶や単語の発声を行う。 ・英語の歌を一緒に歌う。 ・ゲームに参加して、多くの児童と関わりを持つ。 | ○姿勢が崩れたり、顔を伏せてしまったりした時は、声かけをして姿勢を整えるようにする。 ○英語の歌は事前に聞き、歌を歌えるように配慮する。 ○付き添いの教師は、安全に留意しながら見守る。 ○ゲームでは、周囲の児童に教えてもらいながら取り組むことができるように働きかける。 | |
| 11:20 | 業間休み | ○トイレや水分補給を確認する。 | |
| 11:30 | 4時間目：図工 [絵の具で遊んで自分いろいろがみ] ・色々な道具を使って、画用紙いっぱい模様を描いていく。 ・道具を操作する楽しみが味わえるようにする。 | ○準備は、全部の工程を一人でやるのではなく、やることを絞って伝える。 ○説明に注目することができていない時は、肩を叩く等、注意を喚起する。 ○道具の使い方（ローラー、ぼかし網とはぶらし等）は様子を見て、「やりやすい方法」を伝える。 ○わからない時は、担任の先生に質問するように促す。 ○自分から質問できない時は、担任の先生は机間巡視をして様子を見ながら支援をする。 | |
| 12:15 | 下校 ・下校準備をする。 ・クラスみんなに挨拶をして保護者と一緒に下駄箱まで移動する。 | ○担任の先生と話をし、短時間でも今日の振り返りができるようにする。 ○感想を聞き、後でクラスみんなに伝えるよう依頼する。 ○みんなに「さようなら」を伝えて保護者と一緒に下校する。 | |

事例2 中学校2年生（特別支援学校支援籍）

1 年間指導計画（月に1回、支援籍学習の実施）

支援籍学習のねらい

- ルールや指示、説明を理解して行動する。
- テーマに対して自分の考えをまとめ、「なぜそう思ったのか」を言葉で説明する力を高める。
- さまざまな動きを通して、行動の調整力を高める。

| 月 | 指導内容（活動内容）※（特）…特別支援学校（在）…在籍校 |
|----|---|
| 4 | <ul style="list-style-type: none"> ・（保護者）在籍する中学校へ「希望票」を提出する。 ・（在）保護者と面談し、生徒の課題や支援籍学習のねらいを話し合い、確認する。 ・（在）教育委員会の担当と学校関係者による話し合い・指導目標の確認をする。 |
| 5 | <ul style="list-style-type: none"> ・（特）教育委員会より連絡を受け、支援籍学習の希望票を提出する。 ・（特）在籍中学校へ訪問し、授業参観や学校関係者と話し合いを行う。（支援籍学習に関する必要事項を説明する） ・（特）校内で担当者を決定する。 |
| 6 | <p>支援籍学習を開始する 回数は月2回として自立活動の指導を行う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;"> <p>[主な活動内容]</p> <p>①自分の考えを公表する。</p> <p>②対人関係や社会性を高める。（S S T）</p> <p>③身体を動かしながら、記憶や指示理解を高める。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px; float: right;"> <p>◎毎回の学習時に連絡帳を使用し、保護者中学校担任と情報共有を行う。</p> </div> |
| 7 | |
| 9 | |
| 10 | |
| 11 | |
| 12 | <ul style="list-style-type: none"> ・（在）学習を参観し、その後情報交換会を行う。在籍校での様子や指導目標、活動内容を説明する。 |
| 1 | <ul style="list-style-type: none"> ・（特）在籍校担任と話し合いを行い、「自分を理解する」目標を追加する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;"> <p>[主な活動内容]</p> <p>①自分の考えを公表する。</p> <p>②対人関係や社会性を高める。（S S T）</p> <p>③身体を動かしながら、記憶や指示理解を高める。</p> <p>④自分自身を理解できるようにする。</p> </div> |
| 2 | |
| 3 | <ul style="list-style-type: none"> ・（特と在）関係者で反省会を兼ねた打ち合わせを行う。次年度の手続きについて、説明する。 |

2 指導案

〇〇〇〇さん（〇〇市立〇〇中学校3年）特別支援学校支援籍学習〔12回目〕

- 1 日時 令和〇年〇月〇日（〇）〇時〇分～〇時〇分
- 2 場所（集合場所）自立活動室A
- 3 ねらい
 - (1)活動の流れを理解して、自信を持って取り組むことができるようにする。
 - (2)複数の動作のやり方や手順を覚えながら、相手に合わせて行動する力を高める。
 - (3)自分の考えを整理して、わかりやすく伝えることができるようにする。
- 4 生徒の様子

※個別の教育支援計画（プランA）・個別の指導計画（プランB）を参照

5 本時の展開

| 時間 | 学習内容（具体的な内容） | 指導上の留意点（○）指導の手だて（☆）評価 | 備考 | | | | | | | | |
|-------|---|---|----|--------------------------------------|------|------|------|------|----|--|--|
| 16:00 | 保護者と登校 ・昇降口から自立活動室 A の教室へ移動する。 ・入室後、荷物をロッカーに入れる。 ・自分に合った机と椅子を準備する。 | ○緊張して登校するので、入りやすいように配慮する。（声かけをしすぎない等） ○下駄箱やロッカーの位置を忘れていた場合は、迷わないように声かけをする。 ○下駄箱がわかるように名前（マグネット）を掲示する。 | | | | | | | | | |
| 16:05 | はじめの挨拶 ・背筋を伸ばして、挨拶をする。 ・今日の学習を説明する。 | ○良い部分を具体的に言語化して伝える。 ○質問があるかどうかを聞き、安心して活動することができるように配慮する。 ○ホワイトボードに活動内容を示す。 ○前回学習した活動は、前回の様子を伝えながら今日への見通しや意欲がもてるようにする。 | | | | | | | | | |
| 16:10 | (1) ガチャトーク ・ガチャガチャを回し、出たカプセルの中に話すテーマが入っている。 ・考える時間を設定して、まとめていく。 ・時間になったら発表する。 | ○姿勢が崩れたり、顔を伏せてしまったりした時は、声かけをして姿勢を整えるようにする。 ○書いて考えをまとめるか、頭の中で考えをまとめるかを聞き、選んだ方法で取り組む。 ○テーマの内容が十分理解できない時は、ヒントや考えやすい内容に変えて伝える。 ☆時間内に考えをまとめ、発表することができたか。 ☆考えた理由を話すことができたか。 | | | | | | | | | |
| 16:25 | (2) ザ指令！（ケンステップ） ・床へ無造作にケンステップを置く。 ・指令書に示される位置を覚えてジャンプする。（制限時間を設定して時間内に覚えるようにする。） | ○準備や片付けも自分で行うように最初に詳しく説明する。 ○スタートとゴールが明確になるように足型やフープを置く。 ○指令書は、○と●で示したプリント（位置）と色を示したもの（文字で色を示す）を準備する。 <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr> <td style="text-align: center;">●S</td> <td rowspan="5" style="vertical-align: middle;">スタート ①青 ②黄色 ③白 ④赤 ゴール</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">○●○●</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">●○○○</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">○●○○</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">○○○●</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">●G</td> <td></td> </tr> </table> ○ケンステップは4×3列からはじめて、1列ずつ増やしていく。 ○覚える時間は、1分間としてタイマーを使用する。 ☆バランスを崩さず、両足ジャンプをすることができたか。 ☆位置、文字ともに5列まで覚えることができたか。 | ●S | スタート ①青 ②黄色 ③白 ④赤 ゴール | ○●○● | ●○○○ | ○●○○ | ○○○● | ●G | | |
| ●S | スタート ①青 ②黄色 ③白 ④赤 ゴール | | | | | | | | | | |
| ○●○● | | | | | | | | | | | |
| ●○○○ | | | | | | | | | | | |
| ○●○○ | | | | | | | | | | | |
| ○○○● | | | | | | | | | | | |
| ●G | | | | | | | | | | | |
| 16:45 | おわりの挨拶 ・今日の感想を発表する。 ・「良かったこと」「頑張っ | ○時間を確保して、今日の振り返りができるようにする。 ○良かったことや頑張ったことを言語化して伝 | | | | | | | | | |

| | |
|--------------------------------|--|
| たこと」を具体的に伝える。 ・姿勢を整えて挨拶をする。 | える。 ○次回の日程や内容を伝えて、次に意欲が持てるように話す内容を工夫する。 ○良い姿勢のポイントを伝え、できている部分や良い部分を言語化して伝える。 |
| 片づけ・下校 ・保護者と一緒に下駄箱まで移動する。 | ○保護者と一緒に下校する。 |

事例3 小学部3・4年生（交流及び共同学習）（交流小学校5年生）

1 年間指導計画 （お互いの学校に行き合い年2回実施）

支援籍学習のねらい ※（特）…特別支援学校 （交）…交流校

○地域の近い年代の児童との交流を通して

（交流校）障害のある児童のことを知ってもらい、理解の推進を図る。

（特支学校）人と関わる力や社会性を高める。

| 月 | 指導内容（活動内容）※（特）…特別支援学校 （交）…交流校 |
|----|--|
| 4 | <ul style="list-style-type: none"> ・（特と交）事前の打ち合わせ①（挨拶・顔合わせ・児童の様子に関する情報交換） ・（特と交）事前の打ち合わせ②（ねらいの確認・活動内容の検討） |
| 5 | <ul style="list-style-type: none"> ・（特と交）自己紹介カード（掲示物）の作成 ⇒クラス単位で写真や作品を入れたり、コメントを書き込んだりして、教室に掲示しやすいサイズに配慮しつつ、お互いの児童が見やすい内容になるよう工夫する。（写真掲載の許可を事前に確認する） ⇒（交）障害のある児童が見やすくなるよう工夫できるように考える。（例：漢字に仮名を入れる、大きな文字にする、イラストを書き込む） ・（交）交流会に関する事前学習①（障害理解・接し方） ・（特と交）事前打ち合わせ③（掲示物の交換・活動内容の詳細について検討） |
| 6 | <p>交流会①（特別支援学校に交流校の児童が来校しての交流会）</p> <p>10：10に来校する。最初に体育館で待機する。受け入れるクラスが迎えに行き、各クラスで交流を開始する。クラスごとの活動が終わったら体育館に集合して全体でダンスを行い、終了する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・（特と交）感想をまとめて、お互い交換する。 ・（特と交）事後の打ち合わせ（反省・次回に向けての検討事項） |
| 7 | |
| 9 | <ul style="list-style-type: none"> ・（特と交）事前打ち合わせ④（ねらいの確認・活動内容の詳細について検討） ⇒交流校の活動に関する提案に対して、児童が参加できるか、取り組むことができるのか等、確認する。場合によっては、活動内容の変更や修正を依頼する。 |
| 10 | <ul style="list-style-type: none"> ・（交）活動内容の提案 <p>交流会②（交流校に特別支援学校の児童が来校しての交流会）</p> <p>10：30に来校する。最初に体育館で集合、待機する。受け入れるクラスの代表児童が迎えに行き、活動場所に移動して交流を開始する。11：15を目安に終了して、それぞれ体育館に集合する。体育館でダンスを行い、終了する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・（特と交）お礼状を作成する（当日の写真や感想、イラストを入れ、掲示しやすい大きさのお礼状を作成する） |
| 11 | <ul style="list-style-type: none"> ・（特と交）反省会（感想や様子から次年度に向けての反省をまとめる） |
| 12 | |
| 1 | |
| 2 | |
| 3 | <ul style="list-style-type: none"> ・（特と交）来年度の実施について確認する。 |

2 指導案

〇〇〇特別支援学校小学部 3・4年生 〇〇市立〇〇小学校 5年生 交流会・1回目

- 1 日 時 令和〇年〇月〇日 (〇) 〇時〇分～〇時〇分
 グループ活動 〇時〇分～〇時〇分
 全体活動 〇時〇分～〇時〇分
- 2 場 所 (集合場所) 体育館 (活動場所) 教室
- 3 ねらい (1)自分から友だちに声をかけたり、関わったりして積極的に交流する。
 (2)相手にとって「良いこと」を考えて行動する。
- 4 児童の様子

〇〇〇特別支援学校小学部 3年

自閉スペクトラム症の診断を受けている児童が多く、活動への見通しが持てない状況は不安になることがある。児童の多くは、教員の身振りや動作、絵や写真等、教員による一対一の働き掛けにより活動できる。全児童は、共通して身体を動かすことが好きで椅子取りゲームのような簡単なルールのある遊びに取り組むことができる。

〇〇〇特別支援学校小学部 4年

自閉スペクトラム症やダウン症の診断を受けている児童等、障害種は様々である。自分の気持ちや考えを言葉で伝えることが苦手な児童もいる。児童の多くは、鬼ごっこなど簡単なルールのある遊びに取り組むことができる。

□□□小学校 5年 1組

活動的な児童が多く、「みんなでやろう」と声を出して集団を引っ張る児童がいる。相手の立場や気持ちを考えて行動できる児童が女子に多い。自然と「手伝おうか」「私も同じだからわかるよ」という言葉や関わりが見られる。元気な反面、切り替えに時間がかかることもある。

□□□小学校 5年 2組

全体的におとなしい児童が多く、授業中活発に意見が出るものの、「後についていく」タイプの児童が多い。一方で一人の強い意見で物事が決まってしまうこともある。一人一人の意見を聞き、クラスの所属意識や意欲的に参加する気持ちを高めることが必要である。

5 本時の展開

| 時間 | 学習内容 (具体的な内容) | 指導上の留意点 (指導の手だて) | 備考 |
|-------|--|---|----|
| 10:10 | 〇〇小学校が到着 ・体育館の出入り口から入る。 ・整列後、水分補給やトイレなど休憩する。 | ○緊張して来校する児童もいるため、入りやすいように配慮する。 ○下駄箱やロッカーの位置を忘れている場合は、迷わないように声かけをする。 ○担当同士で打ち合わせをする。 | |
| 10:20 | グループによる交流 ・看板を持った (特) 児童が体育館へ迎えに行く。 ・それぞれの活動場所で交流を始める。 | ○ (特) 教師は、児童に付き添い、看板が見えやすいように上げるよう支援をする。 ○ (特) 教室への移動も先頭を歩くことができるよう見守りながら、必要に応じて支援する。 | |
| 11:00 | 休憩 体育館へ移動 | ○トイレや水分補給を確認する。 ○忘れ物がないか確認する。 | |
| 11:15 | 全体による交流 | ○楽しい雰囲気を心がけ、安全に踊ることがで | |

アンパンマン：椅子取りゲーム・歌の交換
 バイキンマン：歌や合奏・デカパンリレー
 ドキンちゃん：小学生の発表・ボール渡しリレー
 しょくぱんマン：大玉ころがし ※体育館を使用
 カレーパンマン：フルーツバスケット・歌や合奏

| | | | |
|-------|---|---|--|
| | <ul style="list-style-type: none"> 大きな輪を作って、みんなでダンスを踊る。 ダンス後、感想発表を行う。事前に決めておいて発表する。 | <p>きるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○児童の位置を工夫し、自然と特別支援学校の児童と小学校の児童が隣になれるように配慮する。 ○マイクで感想を発表する。小学校は、1クラス2名ずつ、特別支援学校は1名ずつ予め指名しておく。 | |
| 11:30 | <p>下校</p> <ul style="list-style-type: none"> 下校準備をする。 (特) 児童は、見送りをする。 | <ul style="list-style-type: none"> ○今日の振り返りをして、次回は小学校に行くことを伝える。 ○次の交流会への期待がもてるよう、話す内容を工夫する。 | |